

| コートとり当番担当クラブ | |
|--------------|-----|
| 9月/10 | 美住A |
| 10月/11 | 本町A |
| 11月/12 | 東住B |

発行責任者 柳 利夫
 住所 東村山市萩山町
 5-6-26-301
 Tel. 0423-95-9849
 編集責任者 川村英明

ようこそ 柏崎市選手の皆様さん!



来る9/3(土)と9/4(日)に対戦

新潟県柏崎テニス協会の選手団一行(男・20、女・9の総勢29名)が「オ7回太田杯争奪」を明け、今年は東村山市へ遠征して参ります。

これは、去る1976年(昭和51年)10月に東村山市体育協会と柏崎市体育団が姉妹提携したのに端を殺し、1年後の1977年11月にテニスの交流試合(太田杯争奪戦)を東村山市の運動公園コートで開催(柏崎チーム、19名、東村山市チーム、24名が参加)したのがオ1回目でした。

以来、相方の連盟が交互に主管し、毎年開催(一昨年は降雨の為中止)して来ているのです。

これまでの戦績は、昨年の8対29ポイントで東村山市チームの惨敗を含め、通算2対3で東村山市チームが負け越しています。

今年は、来る9月3日(土)、午前9時から本戦を、9月4日(日)は正午から親善試合をスズキコートの5面使って開催します。

但し、雨天の場合には会場が市スポーツセンターの中1体育室になります。

ぜひ多勢の皆様のご出場とご声援の程お願いいたします。

<記 柳>

オ9回 夏期合宿

20名が参加し無事終了!

恒例の夏期合宿が、今年は9年前に実施した最初の合宿地、山梨県忍野村「大白荘」を基盤に、9/22(金) 23(土) 24(日)の2泊3日で行われました。

参加者は大人が32、子供が7名

全日程大

天候に恵まれ

楽しく、無事

に終える事

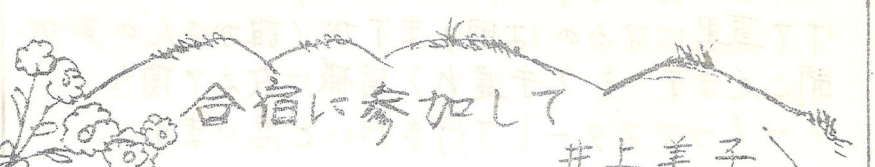
が出来ま

した。詳細

は次号で

お知らせしたいと思います。

尚上の写真は「大白荘」前で撮影したものです。



井上美子

最初にこの合宿のお話があった時、ずい分迷いました。家族でこういう物に参加するのは初めてでしたから。でも最近交際範囲の狭くなった私には、それを広げる良い機会だと、思い切って参加する事にしました。子供達がまだ小さいので、皆さんの迷惑にならなければいいかと気がかりでしたが、心配した程ではなく、昼間はコートで遊び、夜は花火と皆さんが可愛がって下さるので大喜びでした。帰って来ても、友達に「おじちゃんもテニスして来たの」と自慢していました。

私の方は、結婚してから中々運動する機会がなく、家にこもりがちでしたから、体がついて行けるか心配でした。でもコートにクリップからいねいに教えて頂いて、暖々おもしろくなって来ました。ただバドミントンのくせが抜けなくて困りました。

以下次頁 左下段へ

オ3回、東京都市町村大会

東村山市完敗

オ3回太田杯争奪戦が9/30(土) 9/31(日) 立川市内の4会場で、2市町村が参加して行われました。

東村山市は、強豪、町田市に6-1、コンソレにも小金井市に5-2と完敗しました。来年は、せめてコンソレぐらいには頑張りたいと思います。

今回出場したメンバー中、13名迄が市民テの皆さん(武谷、吉永、広瀬、山本、本保、増沢、武谷、吉永、武田、中川、米沢、横山、高瀬)でした。

なほ、優勝は多摩市、準優勝は東久留米市でした。

<記 高瀬>

私とテニス



思多クラブ 松本美智子

東村山市、市民となって約七年、町内仲間の松井さんや、武田さんと共に市民テニスクラブに入れて頂き、早くも四年経ちました。

ラケットを持つ前は、人のプレーを見てみると、簡単そうに見えるテニスが、さにあらず自分が始めてみますと、見るとやるのとでは大違いでした。

技術部の方々に球出しをしていただいたボールが、大きなラケットの横を「夫礼」と云って、ボールが通り過ぎていく、やっとな面に当たったと思うと「さようなら〜」とホームラン。それでも、テニスをしていー心でコートに通いました。球拾いの合間、フェンス越しに一、二、三番コートの方を見て「早く上手になっであちらのコートへ行きたいなあ」と思いました。厳冬、凍えそうな手足をさすって、暖めながら自分の順番の来るのを、10分も20分も待った事や、夏の暑い日、ふうふう云って球を追いかけて、そして、肘や肩を痛めながらも頑張った事などを合わせて、やっとな頃、少しは思う所にボールが行くようになり、試合にも出られる様になりました。

現在は、最初の頃程のファイトはありませんが足を鍛える事、ボレー、スマッシュ etc..... まだまだ覚える事はたくさんあります。日にやけて真黒になるのは困りますが(誰かさんの声が聞こえます、もう手遅れ)皆様に教えて頂き、ノッノッマスターして行きたいと思えます。

今年は、主人も少しづつやる気になって、土日曜とコートに通っています。まだまだ御迷惑をおかけすると存じますが、夫婦共々 よろしくお願ひ致します。

赤頁 右下段 から

一日、二日、三日となるとさすがに、体のあちこちが痛くなって、階段の昇り降り等がづらくなりましたがテニスを初めると不思議と痛くないんですよ。

フォアハンド、バックハンド、ボレー、スマッシュと三日間で色々な事を教わりました。どの位マスター出来たかわかりませんが、これから時間を作って練習してみようと思っています。

最後になってしまいましたがお皆さんには色々とお陰様で楽しい三日間を過ごす事が出来ました。どうもありがとうございました。

市民テニスクラブ10周年記念事業を終って

まとめの雑談より

昨年、市民テニスクラブ10周年記念の事業として、功労者の顕彰などもつの一環に取り組みしました。7月16日に、行事の中心になった方々に締め括りの雑談をしてもらいました。以下、その一端を紹介します。(文責、川村)

<10年誌>

- ◎ 座談会のPART=Iの部分(テープをおこしたものは、400字詰原稿用紙にして約40枚、ダブリを省いてこの長さだから、テープおこしの記録はその1倍半になる。話し言葉を文章にする際の調整、論題別の編集など、大変苦勞の多い仕事だったが、校閲を含めて石原好子さん(本町)が1人でやってくれた。
- ◎ 10年誌の全体の編集、制作などの神経を使う面倒な仕事は、小林帥男さん(美住)が1人で引受けてくれた。
- ◎ 「私と市民テ」には30の方が寄稿してくれたが、その原稿集め、顔写真など、早川洋一さん(東住)に御苦労頂いた。
- ◎ 年譜は、市連盟、外部団体の動きも加えて、柳メモを基礎にして作成した。市民テ草創期の状況は雰囲気を知るべく、日常的なこまごました事をも掲載した。市民テの外部の動きは、これまで記録らしいものが残っていない事もあり、長い目でふりかえる役に立てばと思い記録しておいた。40余人もの規模となった今からは、組織的に記録を残して行く事を考えなければ.....

<記念祝賀会> ヒールでカンパイ

- ◎ 準備段階で参加見込に不安があったが、今までの納会(忘年会)の3倍の170名にもなり、祝賀会として盛会にできた。美住クラブの皆さんには大変お世話になりました。石山さんが揃えてくれた舞台装置の似顔絵は非常に効果的でした。
- ◎ 美住クラブは納会の準備当番でしたが、今までは違った内容に神経を使いました準備がとて良く整っていたが、盛り上げた祝賀会に出来た。色々な方から褒められました。コートでは普段見られない方も含めて多数の方々が気持ちよく裏方の仕事をしてくれ、細かく分担を決めた成果です。又、桑原まさ子さんの立派な決算報告書が、お陰様で出来ました。

トレーナー作成 あなたはどうします?

以前からあちらこちらで話題になってましたネームトレーナーを御希望の方は、笹野井さんまでお願ひします。